

文學士 喜田貞吉著



日本地理附錄 全

東京 金港堂書籍株式會社

日本中地理地圖

目次

- 第一圖 帝國全圖附海流
- 第二圖 地勢、山系、水系略圖
- 第三圖 畿道國府縣區劃圖
- 第四圖 交通圖
- 第五圖 關東八州及奧羽南部(東京、神奈川、千葉、埼玉、群馬、栃木、茨城、福島)
- 第六圖 奧羽北部(宮城、岩手、青森、秋田、山形)
- 第七圖 本州中部東(新潟、長野、山梨)
- 第八圖 本州中部西(靜岡、愛知、岐阜、富山、石川)
- 第九圖 畿內附近(福井、滋賀、京都、三重、奈良、和歌山、大阪、兵庫)
- 第十圖 中國(鳥取、島根、山口、廣島、岡山)

- 第十一圖 四國(香川、徳島、高知、愛媛)
- 第十二圖 九州(大分、福岡、佐賀、長崎、熊本、宮崎、鹿児島)
- 第十三圖 十州(北海道本地)
- 第十四圖 薩南諸島、琉球及千島(鹿児島の一部、沖縄、北海道の一部)
- 第十五圖 臺灣(臺北、臺中、臺南、宜蘭、臺東、澎湖)

日本中地理附録

目次

- 一、帝國四至
- 二、府縣管轄國郡市町村表
- 三、各府縣面積人口表、附府縣廳所在地表
- 四、都市人口表
- 五、著名山嶽表
- 六、著名川流表
- 七、陸軍都督部、師團、旅團、步兵聯隊の配置表
- 八、海軍鎮守府管區表
- 九、鐵道線路表
- 十、各府縣產物摘要
- 十一、重要物産々額表

米	麥	大豆	甘藷	馬鈴薯
實綿	大麻	葉藍	葉煙草	漆汁
砂糖	蠶繭	茶	牛	馬
鯉	鯉	鯛	水產物ノ一	水產物ノ二
食鹽	金	銀	銅	鐵
石炭	石油	硫黃	蠶絲	絹織
絹綿交織	木綿織	麻織	陶器	漆器
銅器	紙	疊表	清酒	味淋
燒酎	醬油			

十三、重要輸出入物品元價表

日本中地理附錄

帝國四至

極東 千島國占守島東經一五六度三二分 極西 澎湖島花嶼東經一一九度二〇分
 極南 臺灣南嶼岩北緯二一度四八分 極北 千島阿賴度島北緯五〇度五六分

府縣管轄國郡市町村表

*印は市、△印は島司官署、●印は區、○印は一郡役所管轄

東京 東京市、荏原、豐多摩、北豐島、南足立、南葛飾、西多摩、南多摩、北多摩、

附〔豆南諸島及小笠原島〕

埼玉 北足立、入間、比企、秩父、兒玉、大里、北埼玉、南埼玉、北葛飾、

神奈川 横濱市、久良岐、橘樹、都筑、

三浦、鎌倉、高座、中、足柄上、足柄下、津久井、愛甲、

安房、

千葉 君津、夷隅、市原、長生、山武、

千葉、東葛飾、印旛、香取、匝環、海上、

結城、猿島、北相馬、

武藏 下總 上總 安房 相模

一、帝國四至 二、府縣管轄國郡市町村表

茨

城

水戸市、東茨城、西茨城、那珂、久慈、多賀、鹿島、行方、新治、筑波、稻敷、

常陸

栃

木

宇都宮市、足利、安蘇、上都賀、下都賀、河内、芳賀、鹽谷、那須、

下野

右關東八州。一府、六縣、八國、七十三郡、五市、二百五十四町、一千六百六十九

村。外に豆南諸島及小笠原島。

福

島

若松市、信夫、岩瀬、南會津、北會津、耶摩、河沼、大沼、伊達、安達、安積、

磐城

宮

城

仙臺市、柴田、名取、宮城、遠田、栗原、登米、桃生、牡鹿、本吉、黒川、加

陸前

岩

手

盛岡市、岩手、紫波、稗貫、和賀、江刺、西磐井、東磐井、膽澤、上閉伊、下

陸中

青

森

弘前市、青森市、東津輕、西津輕、中津輕、南津輕、北津輕、上北、下北、三

陸奥

秋

田

秋田市、南秋田、北秋田、山本、河邊、由利、仙北、平鹿、雄勝、

秋後

山

形

山形市、米澤市、南村山、北村山、東村山、西村山、最上、東田川、西田川、

羽前

右奥羽。六縣、七國、七十四郡、八市、百三十六町、一千三百六十一村。

新

潟

新潟市、東蒲原、西蒲原、中蒲原、北蒲原、南蒲原、古志、北魚沼、中魚沼、

越後

長

野

長野市、南佐久、北佐久、小縣、諏訪、上伊那、下伊那、西筑摩、東筑摩、南

信濃

山

梨

甲府市、東山梨、東八代、西八代、西山梨、南巨摩、中巨摩、北巨摩、南都留、北都留

甲斐

靜岡

賀茂、田方、...
靜岡市、駿東、富士、麻原、安倍、志太、...
榛原、小笠、周智、磐田、濱名、引佐、...
碧海、幡豆、額田、西加茂、東加茂、北設樂、南設樂、寶飯、渥美、八名、...
名古屋市、愛知、東春日井、西春日井、丹羽、葉栗、中島、海東、海西、...
知多、...

伊豆
駿河
遠江
三河
尾張

愛知

岐阜市、稻葉、羽島、海津、養老、不破、安八、揖斐、本巢、山縣、武儀、郡上、加茂、可兒、土岐、惠那、...
大野、益田、吉城、...

美濃

岐阜

富山市、高岡市、上新川、下新川、中新川、氷見、婦負、射水、東礪波、西礪波、...
金澤市、江沼、能美、石川、河北、...
羽咋、鹿島、鳳至、珠洲、...

越中
加賀
能登

石川

右本州中部。八縣、十四國、一百七郡、九市、二百六十町、三千二百村。
京都市、愛宕、萬野、紀伊、乙訓、宇治、久世、綴喜、相樂、...

山城

京都

加佐、與謝、中、竹野、熊野、...
南桑田、北桑田、船井、天田、何鹿、...
多紀、氷上、...
城崎、出石、養父、朝來、美方、...
船路市、明石、美濃、加東、加西、加古、多可、印南、飾磨、神崎、揖保、赤穂、佐用、宍粟、...

丹波
丹馬
但馬

兵庫

津名、三原、...
新戸市、武庫、河邊、有馬、...
大阪市、西成、東成、三島、豊能、...
南河内、中河内、北河内、...
堺市、泉北、泉南、...

播磨
淡路
攝津

大阪

堺市、泉北、泉南、...
奈良市、添上、山邊、磯城、宇陀、生駒、高市、南葛城、北葛城、宇智、吉野、和歌山市、海草、那賀、伊都、有田、日高、西牟婁、東牟婁、...
北牟婁、南牟婁、...
志摩、...

河内
和泉
大和

奈良

和歌山市、海草、那賀、伊都、有田、日高、西牟婁、東牟婁、...
北牟婁、南牟婁、...
志摩、...

紀伊

三 重

津市、四日市市、桑名、員辨、三重、鈴鹿、河藝、安濃、一志、飯南、多氣、度會、……

阿山、名賀、……

滋 賀

大津市、滋賀、栗太、神崎、坂田、甲賀、犬上、野洲、愛知、東淺井、蒲生、伊香、高島、……

福 井

三方、遠敷、大飯、……
福井市、足羽、吉田、坂井、大野、南條、今立、丹生、敦賀、……

右近畿地方。二府、六縣、十七國、一百七郡、十一市、一百十八町、二千十五村。

鳥 取

鳥取市、岩美、八頭、氣高、……
東伯、西伯、日野、……

島 根

松江市、八束、能義、仁多、大原、簸川、飯石、……
邇摩、安濃、邑智、那賀、美濃、鹿足、……
(海士、周吉、穩地、知夫、)……

山 口

赤間關市、厚狹、豐浦、美禰、大津、阿武、……
大島、玖珂、熊毛、都濃、佐波、吉敷、……

伊勢 伊賀 近江 若狹 越前 因幡 伯耆 出雲 石見 隱岐 長門 周防

廣 島

山 口

廣島市、安藝、佐伯、安佐、山縣、高田、加茂、豐田、……
尾道市、御調、世羅、深安、沼隈、葦品、神石、甲奴、雙三、比婆、……
(都宇、窪屋、川上、上房、阿賀、哲多、淺口、小田、後月、下道、賀陽、……
岡山市、御野、津高、和氣、(赤坂、磐梨)、(上道、邑久)、兒島、……
(真島、大庭、(西西條、西北條、東南條、東北條)、(勝南、勝北)、(吉野、英田)、(桑南條、桑北條)、……

明治三十三年
二月郡縣合案
議會通過

安藝 備後 備前 備中 備前 美作

香 川

德 島

右中國。五縣、十二國、八十一郡、六市、六十七町、一千六百三十二村。
高松市、丸龜市、大川、木田、香川、小豆、綾歌、仲多度、三豐、……
德島市、名東、名西、勝浦、那賀、海部、板野、河波、麻植、美馬、三好、……
高知市、土佐、幡多、高岡、吾川、長岡、香美、安藝、……

愛 媛

松山市、宇摩、新居、周桑、越智、温泉、伊豫、上浮穴、喜多、東宇和、西宇和、南宇和、北宇和、……

讃岐 阿波 土佐 伊豫

大 分

西 國

右四國。四縣、四國、四十一郡、五市、三十六町、七百七十九村。
西國東、東國東、速見、大分、北海部、南海部、大野、直入、玖珠、日田、……
下毛、宇佐、……

豐前 豐後

福岡	門司市、企救、田川、京都、築上、 福岡市、糟屋、宗像、遠賀、鞍手、嘉穂、朝倉、筑紫、糸島、早良、 久留米市、浮羽、三井、三潁、八女、山門、三池、	筑後
佐賀	佐賀市、佐賀、神崎、三養基、小城、東松浦、西松浦、杵島、藤津、 長崎市、西彼杵、東彼杵、北高來、南高來、北松浦、南松浦、	肥前
長崎	壹岐、 (上縣、下縣)、 熊本市、飽託、宇土、玉名、鹿本、玖磨、菊池、阿蘇、下益城、上益城、八代、 葦北、天草、	壹岐
熊本	宮崎、南那珂、北諸縣、西諸縣、東諸縣、兒湯、東臼杵、西臼杵、 始良、嘯吹、肝屬、熊毛、大島、 鹿兒島市、鹿兒島、日置、楯宿、川邊、薩摩、伊佐、出水、 繩那郡區、首里區、島尻、中頭、國頭、宮古、八重山、	肥後
宮崎	右九州地方。八縣、十二國、八十五郡、七市、二區、百十四町、二千四百三村。 以上六部合計、三府、四十三縣、七十四國、五百六十七郡、五十一市、二區、	日向
鹿兒島		薩摩
沖繩		琉球

東京	武藏國 東京市	一二六	一、九四八、六〇〇	一五、四九〇
神奈川	同 國 横濱市	一五六	八七〇、三〇〇	五、五九〇
千葉	下總國 千葉町	三二六	一、二四五、九〇〇	三、八二〇
埼玉	武藏國 浦和町	二六六	一、一五二、八〇〇	四、三三四
群馬	上野國 前橋市	四〇七	八〇六、三〇〇	一、九八〇
栃木	下野國 宇都宮市	四一二	七九八、九〇〇	一、九四〇
茨城	常陸國 水戸市	三八五	一、一一五、三〇〇	二、八九五

北海道。一道廳、十一國、十九支廳、八十二郡、三區、百八十町、五百九十八村。(支廳の名稱は本書二一頁参照、郡區名稱略之)

臺灣。一總督府、三縣、三廳、三十九辨務署、(名稱略之)

三、各府縣面積人口表 附府縣廳所在地表

府縣管下の面積及人口の比較を見れば、地勢と住民との間に、如何なる關係の存するかを見るを得ん、まことに記する所は明治三十年末の現在數なり

二、各府縣面積人口表

岡山	備前國岡山市	四二一	一、一〇八、四〇〇	二、六三三
以上中國	○合計	一、九九二	四、五九七、二〇〇	二、三〇八
香川	讃岐國高松市	一一四	六七六、七〇〇	五、九六二
徳島	阿波國徳島市	二七一	六七六、七〇〇	二、四九四
高知	土佐國高知市	四五五	六〇九、〇〇〇	一、三三九
愛媛	伊豫國松山市	三四一	九七一、九〇〇	二、八四九
以上四國	○合計	一、一八一	二、九三四、三〇〇	二、四八五
大分	豊後國大分町	四〇三	八二〇、〇〇〇	二、〇三六
福岡	筑前國福岡市	三一八	一、三五七、八〇〇	四、二七二
佐賀	肥前國佐賀市	一六〇	五九九、七〇〇	三、七四六
長崎	同國長崎市	二三五	八四五、四〇〇	三、五九五
熊本	肥後國熊本市	四六五	一、一二三、一〇〇	二、四一一
宮崎	日向國宮崎町	四八七	四五五、五〇〇	九三五
鹿児島	薩摩國鹿児島市	六〇二	一、〇八三、八〇〇	一、七九*
沖縄	琉球國那覇區	一五七	四四九、〇〇〇	二、八六二

以上九州地方合計	二、八二七	六、七三三、三〇〇	二、三八二
臺灣臺北縣臺北	二、二六八	二、七九七、五〇〇	一、二三四
北海道石狩國札幌區	六、〇九五	七五五、八〇〇	一二五
總計	二七、〇六二	四六、七七六、一〇〇	一、七二九

四、都市人口表 明治三十年末日現在

商工業の盛なる、或は政治上、歴史上特別の緣故を有する等の原因は、よく多數の人民を一地方に招致す。左に記する所は、人口一萬五千以上を有する都市を、地方別に列挙せるもの、之を各府縣面積人口表と比較し、地圖と對照せば、地理と住民との間に、一層趣味ある關係を見出すを得んか。

東京	市(武蔵)	一、三三三、二五六、	横濱	市(武蔵)	一八八、四五五、
宇都宮	市(下野)	三六、二五〇、	水戸	市(常陸)	三三、二五五、
前橋	市(上野)	三三、二〇九、	高崎	町(上野)	二九、六三五、
千葉	町(下總)	二八、五九五、	横須賀	町(相模)	二四、九四四、
栃木	町(下野)	二二、三八六、	八王子	町(武蔵)	二二、一九〇、

四、都市人口表

足尾町(下野)	二一、一五七、	桐生町(上野)	一九、七六三、
川越町(武蔵)	一八、七七七、	足利町(下野)	一八、五四五、
品川町(武蔵)	一八、一二一、	神奈川町(武蔵)	一七、五一六、
戸太町(武蔵)	一七、三九五、	本銚子町(下總)	一六、三七一、
小田原町(相模)	一六、一九九、	千住町(武蔵)	一五、六一〇、
以上關東八州			
仙臺市(陸前)	八二、八二六、	山形市(羽前)	三三、五八二、
弘前市(陸奥)	三二、四三三、	盛岡市(陸中)	三一、四二二、
米澤市(羽前)	二九、六一七、	若松市(岩代)	二八、五七九、
青森市(陸奥)	二六、七七九、	秋田市(羽後)	二六、〇二八、
酒田町(羽後)	二二、七二一、	鶴岡町(羽前)	二〇、三七九、
福島町(岩代)	一八、八三六、	石巻町(陸前)	一八、四〇八、
以上奥羽			
名古屋市(尾張)	三五二、六九九、	金澤市(加賀)	八二、三七三、
富山市(越中)	五八、七八六、	新潟市(越後)	五一、四五四、

静岡市(駿河)	四〇、九四三、	甲府市(甲斐)	三六、一五九、
岐阜市(美濃)	三一、四五六、	高岡市(越中)	三〇、六六〇、
松本市(信濃)	三〇、五八八、	長野市(信濃)	二九、九九一、
上田町(信濃)	二三、七七一、	熱田町(尾張)	二一、〇五二、
豊橋市(三河)	二〇、九二七、	高田町(越後)	二〇、〇〇九、
大垣町(美濃)	一九、六六三、	濱松町(遠江)	一九、三八〇、
岡崎町(三河)	一七、七五七、	新湊町(越中)	一七、四四六、
以上本州中部			
大阪市(攝津)	七五三、三七五、	京都市(山城)	三三二、三七四、
神戸市(攝津)	一九四、五九八、	和歌山市(紀伊)	五七、四九一、
堺市(和泉)	五〇、二〇〇、	福井市(越前)	四三、二五九、
姫路市(播磨)	三四、二五五、	大津市(近江)	三三、八二九、
津市(伊勢)	三一、四二一、	奈良市(大和)	二九、九五〇、
宅治山田町(伊勢)	二七、九二〇、	四日市市(伊勢)	二四、七七一、
明石町(播磨)	二一、一七一、	彦根町(近江)	二〇、一九三、

桑名 町(伊勢)	二〇、〇一一、	伏見 町(山城)	一八、八九六、
敦賀 町(越前)	一六、八五一、	武生 町(越前)	一五、五六六、
尼ヶ崎 町(藤津)	一五、二七〇、		
以上近畿地方			
廣島 市(安藝)	一一三、九二六、	岡山 市(備前)	五六、〇四四、
赤間關 市(長門)	三七、六六二、	松江 市(出雲)	三四、三七五、
鳥取 市(因幡)	二八、一六六、	尾道 市(備後)	二二、二〇四、
山口 町(周防)	一八、三三四、	萩 町(長門)	一七、九四九、
和庄 町(安藝)	一七、四三一、	福山 町(備後)	一五、七五九、
米子 町(伯耆)	一五、七二六、		
以上中國			
德島 市(阿波)	六一、六八六、	高知 市(土佐)	三六、五二五、
高松 市(讃岐)	三四、三二七、	松山 市(伊豫)	三四、〇五一、
丸龜 市(讃岐)	一九、八二七、	撫養 町(阿波)	一七、六〇七、
以上四國			

長崎 市(肥前)	七五、五四二、	福岡 市(筑前)	六三、五二四、
熊本 市(肥後)	五八、三七六、	鹿兒島 市(薩摩)	五四、〇三四、
那覇 區(琉球)	三四、一〇二、	久留米 市(筑後)	二七、九〇四、
佐賀 市(肥前)	二七、六六一、	谷山 村(薩摩)	二五、〇一〇、
首里 區(琉球)	二四、七八七、	佐世保 村(肥前)	二四、二八三、
門司 市(豊前)	二三、六六二、	小倉 町(豊前)	二一、九五六、
願娃 村(薩摩)	二一、六二六、	東南方 村(薩摩)	二〇、六六一、
串木野 村(薩摩)	一九、二五九、	大牟田 町(筑後)	一八、〇〇二、
伊敷 村(薩摩)	一六、二五五、	指宿 村(薩摩)	一六、〇〇六、
阿久根 村(薩摩)	一五、八〇五、	伊作 村(薩摩)	一五、四五六、
知覽 村(薩摩)	一五、四五五、	中津 町(豊前)	一五、一一九、
以上九州地方			
臺南(臺南)	四五、三三〇、	大稻埕(臺北)	二九、五九五、
基隆(臺北)	二一、八三三、	鹿港(臺中)	一七、三三四、
新竹(臺北)	一五、八九七、		

以上臺灣		
函館區(渡島)	七三、九六八、	小樽區(後志)
札幌區(石狩)	三五、四八三、	根室(根室)
江差(渡島)	一五、九八六、	
以上北海道		

五、著名山嶽表

山名排列の順序は地圖の順に従ふ。括弧内の數字は海拔の高さを米突を以て表はす。一米突は三尺三寸なり。山の高さは諸種の調査各多少の異同あり、今は主として農商務省地質調査所の地圖により、間々他の調査を以て之を補ふ。我國の名山、固より之を以て盡くるに非ず、高山峻嶺他に尙少しと雖、こゝにはたゞ本圖に現れたるものゝみを掲ぐ。但、左記の山嶽其十中の八九が火山なるは、讀者の注意すべき點なり。我國には火山多し。火山の景、由來雄壯變化に富む、之れ其特に著名なる所以なるか。

小佛峠(武相の境五二二) 大 島原山(伊豆、七三〇) 大 山(相模二二五〇)

足柄峠(相模の境二二六〇)	箱根駒ヶ岳(同上二三五六)	鋸山(安房三三〇)
赤城山(上野一八四二)	榛名山(同上二四五七)	妙義山(同上二一六五)
淺間山(上信の境二四八〇)	吾妻山(同上三三五七)	白根山(同上四一四三)
碓氷峠(同上九六六)	白根山(兩毛の境二三八六)	庚申山(同上二〇五一)
男體山(下野二四八三)	那須山(下野岩代の境一九二二)	筑波山(常陸八七八)
右關東八州		
磐梯山(岩代一九六四)	安達太郎山(同上二四二〇)	吾妻山(岩代羽前の境一九一九)
岩手山(陸中二〇七〇)	赤倉山(陸奥一八四〇)	八甲田山(同上二五七一)
恐山(同上七八四)	燒山(同上)	岩木山(同上二五八八)
鳥海山(羽後二二三)	寒風山(同上三七七)	月山(羽前一八七八)
羽黒山(同上九三三)	湯殿山(同上)	
右奥羽		
彌彦山(越後六三二)	米山(越後九七五)	金北山(佐波二一六三)
姥捨山(信濃)	鉢伏山(同上二八〇四)	蓼科山(同上二五三〇)
和田峠(同上二五九七)	鹽尻峠(同上二〇六〇)	乗鞍嶽(信濃の境二一六六)

五 著名山嶽表

御嶽 (同上三一八八)	八ヶ嶽 (信甲の境二九三三)	駒ヶ嶽 (同上三〇〇二)
天目山 (甲斐)	笹子峠 (同上二〇五七)	富士山 (甲斐の境三七七八)
寶永山 (駿河二四九五)	愛鷹山 (同上二一八七)	久能山 (同上)
賤機山 (同上)	天城山 (伊豆一三三六)	赤石山 (駿信の境三〇九三)
秋葉山 (遠江八六六)	小夜中山 (同上)	鳳來寺山 (三河五九〇)
養老山 (美濃一〇三七)	伊吹山 (濃江の境一三九二)	大日岳 (濃飛の境一八〇九)
位山 (飛騨)	薬師ヶ嶽 (越中二九九二)	立山 (越中二九三六)
俱利伽羅峠 (越中加賀の境)	白山 (加飛の境二六四〇)	寶達山 (能登六三六)
大日山 (加賀二二三六)	有乳山 (越前)	青葉山 (茅渟六二〇)
右本州中部	比良山 (同上二二三三)	比叡山 (近江山城の境六二八)
	愛宕山 (同上九二三)	老坂山 (大江 (山城丹波の境))
	笠置山 (山城六二)	畝傍山 (大和)
	三笠山 (大和奈良の東)	春日山 (同上)
		赤ヶ嶽 (近江)
		鞍馬山 (山城)
		鬼ヶ城山 (兩丹の境八二二)
		多武峰 (大和)
		金峰山 (吉野 (大和))

大天井山 (同上二三五五)	山上嶽 (同上二七四二)	大日嶽 (同上二六四〇)
大臺原山 (和勢の境一六八五)	鈴鹿峠 (美江の境三七三)	朝熊山 (伊勢志摩の境)
高野山 (紀伊三三三)	根來山 (同上)	金剛山 (和歌山の境一三三七)
船坂峠 (播磨の境九六)	右近畿地方	
大山 (伯耆一八七七)	船上山 (同上)	
右中國		
五劍山 (讃岐)	白峯 (同上)	劍山 (讃岐三三四二)
祖谷山 (同上)	石槌山 (伊豫三〇九七)	
右四國		
英彦山 (豊前二三四四)	双子山 (豊後七四一)	鶴見嶽 (同上)
由布嶽 (同上)	久住山 (同上二八三二)	飯巾振山 (肥前)
温泉嶽 (同上二四八八)	阿蘇山 (同上二六九〇)	霧島山 (日向一七六二)
霧島山 (東 (同上二五四四))	櫻島 (大隅一四三三)	屋久島 (日向 (同上二八八五))
開聞嶽 (薩摩九二七)		

右九州

新高山(四三五〇)

右臺灣

惠山(渡島六二〇)

駒ヶ嶽(同上二〇九九)

マクカリ嶽(陸奥一九四三)

後別嶽(同上九二二)

有珠嶽(同上)

樽前嶽(同上九〇三)

惠庭嶽(同上二四〇七)

十勝嶽(石狩十勝の境二八二二)

石狩嶽(同上二〇三五)

天鹽嶽(天鹽北見の境二五九〇)

雄阿寒嶽(釧路二六一七)

雄阿寒嶽(同上二五〇九)

跡左嶽(同上四六〇)

瓦牛嶽(根室北見の境二五七三)

右北海道

六、著名川流表

川流の著名なるもの、長きの故を以てするあり、好景の故を以てするあり、急流の故を以てするあり、運輸の便あるを以てするあり、歴史上の事蹟を以てするあり、従ひて其數多く、固より左に掲ぐるものを以て盡きたりとせず、こゝには主として本圖記する所を擧ぐるのみ、記載の順序は地圖により、其川の開口せる地方の順に従ふ。

川の長さは水源より河口に至るものにして、主として内務省地理局編纂の地誌提要により、舟筏の通する里程は、府縣統計報告書に據りたる國勢一斑の記載に従ひ、間々他の調査を以て之を補ふ。

早川 箱根山上蘆湖より出で、相模灘に入る、長凡五里。

酒匂川 一名鞠子川、富士山の東より出で、相模灘に注ぐ、長六里餘。

馬入川 一名相模川、甲斐の山中湖より出で、相模灘に入る、上流を桂川といふ、長三十一里。

多摩川 甲斐信濃の境に出で、東京灣に入る、下流を六郷川といふ、長三十六里。

荒川 秩父山中に發し、東京灣に入る、下流を隅田川といふ、航通三十二里。

中川 上流を古利根川といふ、利根川の支流なり、東京灣に入る、長二十一里餘。

江戶川 利根川支流、武總の境を過ぎて、東京灣に入る、長十八里。

利根川 上野北部に出で、上武常總の境を過ぎ、銚子に注ぐ、航通七十一里。

鬼怒川 下野の西北部に出で、大谷川を合せ、下總にて利根川に注ぐ、長三十里。

那珂川 下野那須地方に出で、常陸に入り、水戸の東方に注ぐ、長四十二里。

久慈川 磐城西南部に出で、常陸に入り、太平洋に注ぐ、長二十四里。
渡良瀬川 下野足尾に出で、上野に入りて、利根川に注ぐ、長三十里。
大谷川 日光山中に出で、景勝の地を経て、鬼怒川に注ぐ、長八里。

以上關東八州

阿武隈川 磐城國白河郡に出で、一旦岩代を経て、陸前境に注ぐ、長五十里。
日橋川 猪苗代湖より發す、阿賀川上流なり、越後境に至る迄二十里。
只見川 岩代西南部に出で、日橋川に會す、長三十七里。
北上川 陸中北部より發し、南流して仙臺灣に入る、航運七十六里。
岩木川 一名弘前川、陸奥西南部に出で、十三瀨に入る、長二十二里。
能代川 羽後北方の大河、能代港に注ぐ、長二十五里。
阿仁川 阿仁銅山の邊を過ぎ、能代川に入る。
御物川 院内銀山地方より發し、土崎港に注ぐ、長三十里。
子吉川 鳥海山に發し、本莊を経て、日本海に入る、長十八里。
最上川 羽前東南隅に發し、酒田に至り、日本海に入る、長六十二里。

以上奥羽

三面川 越後北部にあり、日本海に注ぐ。
阿賀川 岩代猪苗代湖に發し、信濃河口の東方に注ぐ、長五十七里。
信濃川 上流を千曲川といふ、北流、新潟の東に注ぐ、長百餘里。
犀川 信濃西部より出で、東北に流れて千曲川に入る、長三十里。
荒川 信濃北部に發し、北流、直江津に注ぐ、長凡二十里。
黒部川 越中東南隅に發し、北流、日本海に入る、長凡二十里。
神通川 上流を宮川といふ、飛騨に發し、北流、富山灣に入る、長五十二里。
射水川 飛騨西部に發し、北流、富山灣に入る、長凡四十里。
手取川 白山より發し、西北流して、日本海に入る、長凡二十里。
大聖寺川 大日山より出で、西北流して、日本海に入る、長凡十八里。
富士川 上流三川、共に甲斐の北境より出で、合して南流し、駿河灣に入る、長三十八里。
大井川 駿河西北隅より出で、駿遠の境を過ぎ、駿河灣に入る、長四十六里。
天龍川 信濃諏訪湖より出で、南流、遠江灣に入る、長六十里餘。
豊川 三河北部に出で、南流、渥美灣に入る、長十七里餘。

矢作川 美濃國境に出で、西南流、衣浦に入る、長二十八里、
 大平川 矢作川支流、長七里餘。
 木曾川 信濃木曾山中に發し、西南流して伊勢海に入る、長四十六里。
 飛驒川 一名益田川、乘鞍嶽に出で、西南流、木曾川に入る、長三十九里。
 長良川 大日嶽より發し、南流、木曾川に入る、長三十二里。
 揖斐川 越前境に出で、南流、伊勢海に入る、長三十里。
 以上本州中部

九頭龍川 美濃境に出で、西流、安居川と會し、坂井港に入る、長卅二里。
 安居川 越前南部に發し、北流、九頭龍川と會し、坂井港に入る、長凡二十五里。
 福知川 下流を由良川といふ、丹波に出で、由良港に注ぐ、長三十里。
 朝來川 一名圓山川、城崎の東を過ぎて、日本海に入る、長凡十六里。
 宮川 大臺原山に發し、伊勢海に入る、長三十二里。
 五十鈴川 皇大神宮の境内を過ぎて、伊勢海に入る、長三里。
 北山川 夫臺原山に發し、熊野川に入る、長二十五里。
 十津川、熊野川 大和山上嶽に發し、熊野灘に注ぐ、長三十五里。

日置川 一名安宅川、長二十五里。
 日高川 大和境に發し、西南流して海に入る、長五十五里餘。
 有田川 高野山に發し、西流、紀伊水道に入る、長二十七里。
 吉野川、紀の川 大臺原山に發し、丹生川を合せ、和歌山の西に注ぐ、長三十里餘。
 大和川 大和平野四近の諸水を集め、西流、大阪灣に入る、長十三里餘。
 野洲川 鈴鹿山に發し、西北流、琵琶湖に入る、長十五里。
 瀬田川、宇治川、淀川、安治川 琵琶湖より發し、山城の諸水を合せ、大阪灣に入る、長三十里餘。
 木津川 伊賀に發し、山城に入り、淀川に會す、長二十八里。
 鴨川 山城北部の流水を集め、桂川に入る、長四里。
 保津川、桂川 丹波近江の境に發し、山城に入り、淀川に合す、長五十五里。
 武庫川 丹波境に發し、南流、大阪灣に入る、長十三里。
 湊川 攝津西方の小川、兵庫にて海に入る、平時水なし、楠公忠死を以て名あり。
 加古川 丹波に發し、西南流、播磨灘に入る、長二十八里。

市川 但馬に發し、南流、播磨灘に入る、長十二里。
 揖保川 但、因の境に發し、南流、播磨灘に入る、長十五里。
 千種川 播磨西北隅に發し、南流、播磨灘に入る、長十五里。

以上近畿地方

千代川 因幡南部に發し、北流、日本海に入る、長十二里。
 天神川 日本海に入る、長八里。
 籬川 一名大川、伯耆境船通山に發し、西北流、宍道湖に入る、長二十里餘。
 江ノ川 備後、安藝北部の諸水を集め、西流、日本海に入る、長五十里餘。
 高津川 石見西南の諸水を集め、北流、日本海に入る、長十四里。
 阿武川 一名萩川、萩に至り、日本海に入る、長十五里。
 岩國川 一名錦川、石見境に出で、東流、廣島灣に入る、長二十四里。
 太田川 石見境に出で、南流、廣島灣に入る、長二十三里。
 蘆田川 備後灘に入る、長凡十二里。
 河邊川 一名大河、上流を高梁川といふ、伯耆境に發し、南流、水島灘に注ぐ、長二十八里。

西大川 一名旭川、美作に發し、南流、兒島灣に入る、長三十七里。
 東大川 上流を津山川といふ、美作に發し、南流、兒島灣口に入る、長三十一里。
 以上中國

吉野川 土佐より來り、東流、鳴門海峡の南に注ぐ、長四十一里。
 那賀川 土佐境に發し、東流、紀伊水道に入る、長二十八里餘。
 物部川 阿波境に發し、西南流、土佐灣に入る、長二十五里。
 仁淀川 伊豫石槌山に出で、東南流、土佐灣に入る、長二十六里。
 渡川 一名四萬十川、土佐西方の大河、長二十里。
 肱川 土佐境に發し、西北流、伊豫灘に入る、長十里。
 以上四國

山國川 英彦山に發し、東北流、周防灘に注ぐ、長十三里。
 大野川 久住山、阿蘇山より出で、東北流、別府灣に入る、長三十四里。
 遠賀川 上流を嘉麻川といふ、北流、響灘に入る、長凡十五里。
 三笠川 福岡灣に注ぐ、六里餘。
 那珂川 福岡灣に注ぐ、八里餘。

筑後川 豊後久住山より發し、西流、有明海に注ぐ、長三十五里。
 菊池川 一名山鹿川、西南流、有明海に入る、長十九里餘。
 白川 阿蘇山中より出で、西流、有明海に入る、長十五里餘。
 縁川 阿蘇山南に出で、西流、有明海に入る、長二十一里餘。
 球摩川 五箇山中に發し、迂曲して八代海に入る、長二十四里餘。
 川内川 肥後境に發し、西南流して海に入る、長四十六里。
 大淀川 肥後境と大隅境とより出で、東流、日向灘に入る、長二十五里。
 一ノ瀬川 肥後境に出で、東南流、日向灘に入る、長三十里。
 大丸川 一名高鍋川、東南流、日向灘に入る、長二十五里。
 美々津川 一名耳川、東南流、日向灘に入る、長二十八里。
 五箇瀬川 肥後境に出で、東流、日向灘に入る、長三十里。
 以上九州
 利別川 膽振に出で、西流、日本海に入る、長三十里。
 尻別川 膽振に出で、マクカリヌプリの北を廻り、西流、日本海に入る、長三十六里。

石狩川 石狩嶽に出で、雨龍、空知の二川を合せ、西南流、石狩灣に入る、長百六十七里。
 天鹽川 天鹽嶽に發し、西北流、日本海に入る、長七十餘里。
 常呂川 石狩境に發し、東北流、荷哥斯科海に入る、長三十里。
 西別川 東流、根室灣に入る、長三十里。
 釧路川 釧路湖に發し、南流、太平洋に入る、長三十七里。
 十勝川 十勝嶽に發し、東南流、太平洋に入る、長五拾餘里。
 新冠川 十勝境に發し、西南流して海に入る、長二十六里。
 沙流川 十勝境に發し、西南流して海に入る、長三十五里。
 以上北海道

臺灣の川流は精密なる調査を得ざるが故に暫く之を缺く。

七、陸軍都督部、師團、旅團、步兵聯隊の配置表

都督部所在地 師團司令部所在地 旅團司令部所在地 步兵聯隊所在地
 近衛(東京)第 一(東京)第 二(東京)第 三(東京)第 四(東京)第

東部都督部 (東京)				中部都督部 (大阪)				西部都督部 (小倉)			
第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二
(東京)	(東京)	(仙臺)	(仙臺)	(名古屋)	(秋田)	(大阪)	(姫路)	(金澤)	(姫路)	(廣島)	(小倉)
第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二
(東京)	(佐倉)	(仙臺)	(仙臺)	(名古屋)	(秋田)	(大阪)	(姫路)	(金澤)	(姫路)	(廣島)	(小倉)
第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第
十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六
(高松)	(仙臺)	(仙臺)	(仙臺)	(名古屋)	(秋田)	(大阪)	(姫路)	(金澤)	(姫路)	(廣島)	(小倉)
第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第
三十九	四十	四十一	四十二	四十三	四十四	四十五	四十六	四十七	四十八	四十九	五十
(村松)	(仙臺)	(仙臺)	(仙臺)	(名古屋)	(秋田)	(大阪)	(姫路)	(金澤)	(姫路)	(廣島)	(小倉)
第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第
三十九	四十	四十一	四十二	四十三	四十四	四十五	四十六	四十七	四十八	四十九	五十
(村松)	(仙臺)	(仙臺)	(仙臺)	(名古屋)	(秋田)	(大阪)	(姫路)	(金澤)	(姫路)	(廣島)	(小倉)

八、海軍鎮守府管區表

沿海區劃	鎮守府所在地	所管區域
第一海軍區	横須賀	陸奥より紀伊に至る本州の太平洋沿岸及び小笠原島沿岸
第二海軍區	吳	紀伊より西の方瀬戸内海、四國沿岸及び九州東海岸
第三海軍區	佐世保	九州西海岸及び壹岐、對馬、琉球の沿岸
第四海軍區	舞鶴	本州の日本海沿岸及び隱岐、佐渡の沿岸
第五海軍區	室蘭	北海道の沿岸及び本州の津輕海峡に面する沿岸

九、鐵道線路表

鐵道の已に開通せるもの三千六百哩に近からんとし、工事中に屬するもの亦二千數百哩の長きに上る。左に其主なるものを擧げ、之より分岐せる小線路を之に附載す。其()内に記せるものは、其所屬の鐵道會社の名稱なり。(貨物専用線及休業中のものは省略す。)

東海道線(官設) 東京橋より横濱名古屋、京都、大阪を経て神戸に至る。三六七哩三一鎮。

新橋赤羽間(日本) 品川、新宿を経て、日本鐵道諸線路と連絡す。一六哩一四鎖。
 大船橋須賀間(官設) 鎌倉を経て、三浦半島に通ず。一〇哩三鎖。
 三島大仁間(豆相) 三島町を経て、伊豆半島に通ず。一二哩。
 豊橋新城間(豊川) 豊川と並びて三河の北方に入り、新城を経て、大海に至らんとす。一三哩三六鎖。新城大海間未成。五哩一九鎖。
 大府武豊間(官設) 知多半島に入る。一二哩一鎖。
 米原敦賀間(官設) 東海道線と北陸線とを連絡す。三〇哩二三鎖。
 彦根八日市間(近江) 東海道線と關西線とを連絡せんとす。一一哩七二鎖。八日市三笠間未成。一五哩五三鎖。
 馬場大津間(官設) 琵琶湖畔に通ず。一哩二六鎖。
 梅田^{大阪}安治川口間(西成) 川口に通ず。三哩五二鎖。
 北陸線(官設) 敦賀より、福井、津幡、高岡を経て、富山に通ず。一二二哩四五鎖。
 津幡七尾間(七尾) 能登半島に入る。三一哩六〇鎖。
 高岡城端間(中越) 越中南部に入る。一八哩四八鎖。
 關西線(關西) 名古屋より、龜山、柘植、木津を経て大阪^關に至る。一〇七哩二鎖。
 彌富萩原間(尾西) 關西線と東海道線とを連絡せんとす。一三哩。萩原一の宮間未成。二哩。

龜山 津間(關西) 津山田間(參宮) 關西九哩六〇鎖。參宮二六哩一五鎖。
 柘植草津間(關西) 關西線と東海道線とを連絡す。二二哩五五鎖。
 加茂奈良間(關西) 關西線と奈良鐵道線とを連絡す。六哩一二鎖。
 新木津木津間(關西) 關西線と奈良鐵道線とを連絡す。二九鎖。
 京都櫻井間(奈良) 京都^七より伏見、宇治、木津、奈良を経て、三八哩一五鎖。
 京都園部間(京都) 京都^七より、舞鶴に至らんとす。二二哩一六鎖。園部間未成。
 大阪櫻井間(大阪) 大阪^町より、天王子、柏原、王寺、高田を経て、二九哩九鎖。
 天王寺大阪^{梅田}間(大阪) 大阪市東を廻り東海道線と連絡す。六哩五七鎖。
 柏原富田林間(河南) 高野鐵道と連せんとす。六哩六鎖。富田林以南未成。
 王寺奈良間(大阪) 奈良にて奈良鐵道關西鐵道と連絡す。九哩三八鎖。
 高田五條間(南和) 紀和鐵道線に連絡す。一四哩六九鎖。
 五條橋本間及船戸和歌山間(紀和) 五條、和歌山間に通せんとす。五條橋本間六哩一鎖。船戸和歌山間七哩三六鎖。間未成。
 大阪和歌山間(南海) 大阪^{難波}より、住吉、堺、岸和田を経て、三八哩七六鎖。
 大小路長野間(高野) 住吉より起り、橋本にて紀和鐵道線に連絡せんとす。一〇哩。
 四〇鎖。大小路以北及び長野以南未成。

大阪福知山間(阪鶴) 大阪梅より、神崎、池田、篠山を経て、七一哩二三鎖。

神崎尼ヶ崎間(阪鶴) 一哩五八鎖。

山陽線(山陽) 神戸より、赤間關に至らんとす。二七四哩五五鎖。

三田尻赤間關
四五哩八鎖未成

兵庫和田岬間(山陽) 一哩六四鎖。

飾磨生野間(播但) 姫路を経て、三〇哩六二鎖。

生野より津屋山間
四〇哩三三鎖未成

岡山津山間(中國) 米子に至らんとす。三四哩七六鎖。

津山より米子間
六十二哩餘未成

廣島宇品間(山陽) 三哩四六鎖。

飯田町八王子間(甲武) 東京飯田より國分寺立川を経て、二六哩七七鎖。

國分寺川越間(川越) 一八哩三六鎖。

立川日向和田間(青梅) 青梅を経て、一三哩。

東京銚子間(總武) 東京本所より千葉、佐倉を経て、七一哩七七鎖。

千葉大原間(房總) 勝浦に至らんとす。大原以南未成。三五哩六四鎖。

佐倉佐原間(成田) 成田を経て小見川に至らんとす。佐原以東未成。二四哩五五鎖。

東京青森間(日本) 東京野上より、大宮、宇都宮、福島、仙臺を経て、三七六哩三一鎖。

田端友部間(日本) 六一哩六〇鎖。

大宮前橋間(日本) 五二哩三六鎖。

小山前橋間(日本) 五〇哩七五鎖。

小山水戸間(日本) 四一哩四五鎖。

宇都宮日光間(日本) 二五哩。

岩切鹽竈間(日本) 四哩二四鎖。

水戸岩沼間(日本) 一四一哩四七鎖。

尻内湊間(日本) 五哩四鎖。

高崎下仁田間(上野) 富岡を経て、二一哩。

葛生越名間(佐野) 佐野を経て、九哩五六鎖。

北千住久喜間(東武) 足利に通せんどす。久喜以北未成。二四哩三六鎖。

水戸太田間(太田) 一二哩一一鎖。

信越線(官設) 高崎直江津間。一一七哩三鎖。

北越線(北越) 春日新田沼垂間。八四哩一一鎖。

岩越線(岩越) 岩代越後を連ねんとす。郡山若松間開通。三九哩一一鎖。

奥羽線(官設) 福島より兩羽地方を経て青森に至らんとす。

福島米澤間二五哩二三鎖開通
青森白河間四六哩六〇鎖開通

以上本州

琴平高松間(讃岐) 多度津丸龜を経て、二七哩一九鎖。

徳島山崎間(徳島) 徳島より川田に通せんどす。山崎以西未成一八哩。

伊豫松山附近諸線 高濱平井河原間(伊豫) 一〇哩一九鎖。立花森松間(伊豫) 二哩六一鎖。

松山古町(道後) 三哩六鎖。藤原郡中間(南伊豫) 六哩四二鎖。

以上四國

門司八代間(九州) 折尾、鳥栖、熊本、宇土を経て、一四三哩三五鎖。

小倉行橋間(九州) 一五哩二鎖。 鳥栖長崎間(九州) 九七哩四九鎖。

早岐佐世保間(九州) 五哩五〇鎖。 有田伊萬里間(九州) 八哩一一鎖。

若松大隅間(九州) 三〇哩三六鎖。 直方金田間(九州) 六哩二〇鎖。

小竹幸袋間(九州) 三哩四鎖。 宇土三角間(九州) 一六哩二〇鎖。

嚴木妙見間(唐津) 一三哩六七鎖。

行橋宇佐間(豊州) 二七哩六七鎖。

行橋後藤寺間(豊州) 一八哩一二鎖。 後藤寺宮床間(豊州) 一哩六三鎖。

以上九州

手宮室蘭間(炭坑) 札幌、岩見澤等を経て、一三〇哩五三鎖。

岩見澤空知太間(炭坑) 二四哩七五鎖。 砂川歌志内間(炭坑) 八哩六四鎖。

岩見澤幌内間(炭坑) 八哩七七鎖。 幌内太都春別間(炭坑) 四哩三九鎖。

追分夕張間(炭坑) 二九哩四九鎖。

砂川蘭留間(官設) 炭坑鐵道に連絡して、旭川を経て、宗谷に通せんとす。五三哩一八鎖。

旭川美瑛間(官設) 厚岸に達せんとす。一四哩六六鎖。

以上北海道

各府縣產物摘要

東京 八王子の絹織物、青梅綿、品川大森海濱の淺草海苔、東京の袋物、錦繪、

蒔繪、銅器、七寶燒等の美術工藝品、大森地方の梨子、麥藁、貝田、八丈絹、

小笠原島の鳳梨、椰子、檳榔、珈琲、大嶋蠟、蠟燭、信天翁等。

神奈川 横濱の輸出漆器、陶器、江島貝細工、箱根挽物細工、小田原の漬物、賣藥

外郎。

千葉 鯨、鰹、鮪、石花菜、鰹節、干鰯等の海産物、行徳の鹽、流山の味淋、銚子及野

田の醬油、米等の農産物、銚子縮、佐倉炭。

埼玉 麥、綿、藍、甘藷、川越等の農産物、二子織、秩父絹、川越の絹織物、

群馬 桐生、館林等の織物、前橋等の生絲、伊勢崎、銘仙、蠶卵紙、

栃木 足利等の織物、栃木等の生絲、具岡木綿、鹿沼地方の麻、足尾の銅

日光の塗物、羊羹、葛生地方の石灰石、其他の石材。

茨城 結城紬、木綿(西部地方)、水戸煙草、漆汁、水戸膳、石岡、土浦の醬油、

福島 石岡の酒、鯉、鰯等の魚類、麥等の穀類、花崗石、寒水石等の石材、石炭、會津の陶器、漆器、臘燭、二本松の紬、福島の絹絲、羽二重、貝綿、蠶卵紙、
 半田銀山の銀、中村の相馬焼、三春駒、馬鈴薯、煙草、平地方の石炭、
宮城 仙臺平、仙臺米、仙臺鮭、埋木細工、銀、鉛、
岩手 南部釜、南部漆器、南部縮緬、南部馬、釜石鐵、
青森 津輕韓塗、鮎、海參、鱈、鱈、昆布等の海産物、
秋田 秋田蔴、秋田軟織、秋田八丈等の織物、秋田米、院内、阿仁、尾去澤等諸
 嶺山の金、銀、銅、能代の春慶塗、
山形 米澤の糸織、蠶絲、貝綿、漆汁、漆器、新庄の龜絞織、鶴岡の繪蠟燭、大
 山酒、
新潟 越後縮布、十日市の邊綾、五泉村上の平絹、信濃川、三面川等の鮭、燕
 町の銅器、越後米、石油、佐渡の金、相川の無名異燒、裂紙、
長野 木曾の材木、更科の蕎麥、上田紬、生絲、貝綿、蠶卵紙、漆汁、漆器、
 奉書、杉原等の紙類、寒天、
山梨 水昌、甲州葡萄、甲斐絹、郡内絹、

静岡 茶、静岡の輸出漆器、静岡の竹細工、駿河半紙、富士石、伊豆石、遠
 江の疊表、石油、天城山林等の材木、鮭、鰯、石花菜、伊豆節及び興津鯛等
 の海産物、
愛知 瀬戸、常滑、犬山等の陶器、七寶燒、尾張大根、鳴海絞、名古屋扇、知多
 半島の酒、醋及び醬油、三河木綿其他の木綿織、尾張平野の藍綿、
岐阜 美濃紙、美濃燒陶器、岐阜提燈、岐阜團扇、岐阜の縮緬、長良川の香
 魚、高山の春慶塗、生絲、
富山 富山の反魂丹、高岡の銅器、高岡魚津の漆器、米、鱈、鮭、鰯、
石川 金澤象眼、金澤銅器、輪島山中等の漆器、山代、小松、大聖寺等の九谷燒、
 小松、大聖寺等の加賀絹、輪島鱈、鮭、海參、疊表、麻織物、漆汁、七
 尾の酒、
三重 津の緞子、松坂絹、桑名の時雨蛤、萬古燒、菜漬、種油、伊勢鰻、海鼠、貽
 貝、真珠、鹿角菜、鰹等の海産物、
滋賀 源五郎鮎、鰹等の魚類、鮎鮓、八幡蚊帳、濱縮緬、野洲晒布、信樂燒、
 茶、江州米、菜種、麻、虎石の硯、筵、疊表、伊吹艾、

福井 若狭の鱈小鯛鯉等の海魚、若狭塗、茶、越前雲丹、麻織、奉書、鳥の子、

杉原等の紙類、生糸、羽二重、奉書軸。

京都 西陣の織物、友禪染、繻物、清水、粟田の陶器、伏見人形、宇治茶、白

川石、京紅、京白粉、みすや針、京塗、七寶燒、銅器、丹波栗、木材、

寒天、丹後縮緬、鱈、鯉、海鼠等の海産物。

奈良 吉野山地の吉野葛、吉野漆、吉野紙、月讀の梅漬、梅の木細工、奈良の奈良

晒布、奈良漬、奈良團扇、根來塗、霰酒、奈良人形、鹿角細工。

和歌山 熊野沖の鮫、和歌山の綿子、黒江梅、熊野及高野山林の木材、熊野

備長(木炭)、高野豆腐、有田の蜜柑。

大阪 紡績綿絲、堺の段通庖刀、道明寺糰、菜種、種油、綿、河内木綿、摺

附木、寒天、麥酒、清酒、池田の由多加織。

兵庫 池田、伊丹、西宮等の清酒、生野の銀、出石燒、姫路の姫路木綿、姫路草、

明石の明石縮、明石玉、神戸の牛肉、龍野の醬油、赤穂の食鹽、鯛、播

州米、福島の珉平燒。

岡山 伊部燒、高粱地方の麥、葛具田、備後疊表、花筵、食鹽、鯛、鰻、美作

の雲齋木綿、煙草。

廣島 萩の保命酒、廣島の牡蠣、廣島の牛肉、備後疊表、花筵、食鹽、宮島

細工、鯛。

山口 赤間關の硯石、石炭、食鹽、鯛、鰻、鰯等の海産物、長州蜜柑、米穀、

岩國縮、岩國半紙、平家蟹。

島根 布志名燒、玉造の瑪瑙、暹摩銀山の銀、鏡、中の海の鱈、隱岐の鳥賊

等の海産物、宍道湖の鱈、鰻、白魚等。

鳥取 伯耆牛、白珊瑚、海松。

徳島 藍、徳島の絨織、綿ネ、半田梅、池田の煙草、鳴門鯛、齊田鹽、砂糖、

表乾魚等の海産物。

香川 砂糖、煙草、食鹽、小豆島石。

愛媛 別子銅山の銅、市の川鏡山の安買母尾、宇和島の半紙、砥部燒、松山

の伊豫絣、生臘、砂糖、食鹽、鯛。

高知 土佐紙、珊瑚、鯖、鰻、鰯節。

大分 食鹽、鯛、生臘、硫黃。

宮崎 日向炭、椎茸、茶、都城の萬年青。

鹿兒島 櫻島大根、薩摩燒、薩摩餅、甘藷、薩摩砂糖、國分煙草、金、阿久根

地方の燒酎、鰹、薩摩節、硫黃。

大島紬、芭蕉布、蘇鐵、竹、七島疊表、永良部鰻。

熊本 香魚、米麥等の穀物、甘藷、備後表琉球表等の疊表、燒酎、赤酒、

熊本の朝鮮鮎。

長崎 平戸の陶器、長崎煙草、甘藷、五島の鯨及び鳥賊、對馬の鱈、海參、雲丹及

び干鮑、鰹、鰯等の海産物、高島の石炭。

佐賀 有田、伊萬里、唐津の陶器、唐津の石炭。

福岡 博多織、小倉織、久留米餅、筑後米、清酒、菜種、種油、藪、苧、

石炭。

北海道 鱈、昆布、鮭、鰻、枝幸其他の砂金。(以上所々に産出す)

渡島五稜廓の水、石狩諸炭山及び岩内の石炭、内浦灣沿岸の砂鐵、札

幌諸會社製造の砂糖、麻、麥酒、日高新冠牧場の馬、十勝川の黒曜石、釧

路の硫黃、厚岸牡蠣島の牡蠣、千島沿海の臘虎、海豹、臘臍獸、海驢、鯨等の

海獸。

琉球 甘藷琉球芋、薩摩餅、蘇鐵、芭蕉布、紬、泡盛酒、琉球塗。

臺灣 北部の茶、石炭及孟宗竹、南方の砂糖、此外樟腦、樟材、米、落花生等の農

産物、鳳梨等の暖國的天産物、鳳山地方の枝竹パイプ。

十一、重要物産々額表

米 全國總計 四七、三八七、六六六石 明治三十一年

新潟 二、八〇九、六三七、 兵庫 二、二三〇、三七五、 福岡 一、九二六、六四七、

愛知 一、八八八、二五九、 千葉 一、六九〇、五八一、 岡山 一、四七八、七八一、

山口 一、四五〇、八九九、 富山 一、四二九、一一三、 福島 一、三九八、四四四、

熊本 一、三一八、八〇八、 三重 一、二九八、一三三、 滋賀 一、二八二、三九四、

大阪 一、二七六、八六六、 長野 一、二五五、九七七、 山形 一、二二六、一一一、

秋田 一、二一三、五六三、 茨城 一、二〇五、三〇三、

麥 全國總計 二〇、四六二、〇五三石 明治三十一年

埼玉 一、一六二、三六〇、 茨城 一、〇六九、七四一、 兵庫 九二〇、四一四、

熊本	八〇七	〇三、	愛知	八六二、九七四、	千葉	八二六、五三一、
群馬	九六五〇七、	岡山	七二九、四六五、	福岡	七二六、九七〇、	
栃木	七一一、〇七二、	廣島	六七七、〇七六、			
大豆	全國總計	三、一〇〇、九七三石				明治三十年
茨城	二二三、一〇二、	岩手	二二〇、七七八、	埼玉	二二五、六三二、	
長野	一八三、七二五、	熊本	一七一、一六六、	千葉	一三五、一六六、	
福島	一二二、六七八、	宮城	一二一、四一八、	群馬	一一九、七一、	
甘藷	全國總計	六六二、三九一、五九〇貫				明治三十年
鹿兒島	一九、五八五、〇一四、	沖繩	六七、一五二、二七八、	熊本	五八、三八一、六〇二、	
長崎	五七、四〇一、三二三、	愛媛	三四、二六二、一二六、	大分	二六、六七二、〇六九、	
千葉	二六、七三四、一七四、	廣島	二五、五八五、八三七、	宮崎	二四、一二二、九五九、	
馬鈴薯	全國總計	五八、五二八、二八七貫				明治三十年
福島	三、九一一、七八八、	青森	三、七二三、九一四、	新潟	二、〇一三、三六〇、	
秋田	一、八六三、九三二、	長野	一、六九八、三二四、	神奈川	一、四八五、八六三、	
宮城	一、四〇四、七九三、	山梨	一、三二五、九三〇、	岩手	一、三三四、二〇〇、	

實綿	全國總計	七、三〇四、二五三貫				明治三十年
鳥取	一、〇〇六、五八二、	大阪	八六二、六九二、	廣島	七九〇、三三三、	
愛知	六二一、六二一、	千葉	四七四、五六〇、	山梨	四三三、九一六、	
大麻	全國總計	三、五六九、一五九貫				明治三十年
栃木	八五三、〇三九、	廣島	四二六、七二四、	新潟	二九五、六六〇、	
葉藍	全國總計	一九、四一五、五九三貫				明治三十年
德島	四、五六五、二八〇、	福岡	二、一三三、六〇八、	愛知	一、六九七、五九〇、	
埼玉	一、二三一、九六二、	岡山	八九五、八〇九、	静岡	八一六、三〇六、	
葉煙草	全國總計	八、八七一、三七〇貫				明治三十年
茨城	六八一、七四八、	岡山	六六三、〇四八、	神奈川	五九三、三六九、	
德島	五九〇、八四五、	鹿兒島	五五二、一八二、	福島	五一七、九九四、	
漆汁	全國總計	四一、四七八貫				明治三十年
長野	六、一一四、	栃木	四、〇七八、	石川	三、二一八、	
茨城	二、六六七、	愛知	二、四六〇、	新潟	二、一二四、	
砂糖(白下)	全國總計	四、二七八、九四三貫				明治三十年

十一、重要物産産額表(大豆、甘藷、馬鈴薯、實綿、大麻、葉藍、葉煙草、漆汁)四七

香川	一、八四五、六一九、	東京	三六二、九〇〇、	宮崎	三三〇、〇七五、
同(赤)	全國總計 三九一、三四五貫			明治三十年	
香川	二三八、七八六、	德島	九二、〇三四、	福岡	二二、〇一六、
同(白)	全國總計 四七三、八一八貫			明治三十年	
德島	一五四、五九七、	香川	一一七、〇二二、	愛媛	一〇五、七一一、
同(黑)	全國總計 七、七四一、四九四貫			明治三十年	
鹿兒島	三、〇四六、六四八、	熊本	七三四、八九〇、	長崎	三〇七、六五六、
蠶繭	全國總計 二、〇二七、三四二石			明治三十一年	
長野	三三三、四九九、	群馬	二〇〇、五一九、	埼玉	一三九、六五五、
福島	一三四、二〇五、	岐阜	一二四、一四六、	山梨	八三、四五五、
茶	全國總計(精粗各種合計) 八、四四三、七二六貫			明治三十一年	
静岡	二、九六五、三四〇 <small>(内玉露四〇八)</small>	京都	五六九、九一五 <small>(内玉露三三八、四七五)</small>	三重	四六四、〇四四 <small>(内玉露八五二)</small>
岐阜	三三四、一三三 <small>(内玉露一二五四)</small>	奈良	二八八、一五五 <small>(内玉露一二八七)</small>	福岡	二三九、七三一 <small>(内玉露五三)</small>
牛	(現存數)全國總計 一、二二四、一五九頭			明治三十年	
岡山	九一、三三三、	廣島	八八、七二一、	兵庫	八一、五五〇、

鹿兒島	七二、四六三、	大分	七〇、一七九、	長崎	六九、五〇一、
山口	六五、五〇六、	島根	六五、一四九、		
馬	(現存數)全國總計 一、五九二、八七一頭			明治三十年	
鹿兒島	一二八、五三七、	岩手	一〇九、六九五、	熊本	一〇六、四八八、
福島	一〇〇、〇〇七、	宮崎	七四、四三八、	秋田	七〇、六七六、
青森	七〇、二一九、	宮城	六五、六三二、		
鱈	全國總計 四、八九一、九三五圓			明治三十年	
千葉	八五七、六七九、	富山	四四二、六三二、	長崎	三五七、三五五、
茨城	三四九、四六三、	山口	三四八、九三二、	愛媛	二六一、四五六、
鯉	全國總計 二、七五四、四四二圓			明治三十年	
高知	五二九、三八四、	静岡	四七八、八二一、	千葉	三七〇、〇九六、
茨城	三二八、四六一、	鹿兒島	二二二、八三五、	長崎	一六四、一八六、
鯛	全國總計 二、六〇九、一八七圓			明治三十年	
山口	五四三、八五三、	兵庫	一八四、三五二、	岡山	一四四、三四八、
廣島	一四三、〇三六、	愛媛	一一八、三七二、	香川	一一三、七〇一、

水産物(生物類) 全國總計 三二、三二六、二〇一圓

明治三十年

千葉 二、五三七、〇七五、 山口 二、〇三二、二九四、 靜岡 一、六七二、六七七、
長崎 一、六二〇、六一九、 高知 一、四九三、三八三、 茨城 一、三三七、七五七、

水産物(鹽物、乾物、肥料等) 全國總計 二九、七四〇、三五八圓

明治三十年

北海道 一三、七〇二、六一五、 千葉 一、三三〇、三六四、 長崎 一、一七二、六七八、
靜岡 一、〇一七、六四二、 鹿兒島 八七一、四三四、 茨城 八二六、五三六、

食鹽 全國總計 六、一七八、〇九四石

明治三十年

山口 一、〇六六、七二〇、 香川 一、〇四八、一八五、 兵庫 七五六、七五〇、
廣島 六七二、二二一、 岡山 五八三、九四八、 德島 四六二、四三五、

金 全國總計 二七六、四二七匁

明治三十年

愛媛 三八四、七〇七、 大分 一九六、三七〇、 石川 一四五、九〇五、
鹿兒島 九〇、四九七、 新瀉 六四、八八九、 兵庫 二九、一九五、

銀 全國總計 一四、四七八、四八五匁

明治三十年

秋田 二七、九六一、 石川 二一、六二七、 北海道 一六、一一六、
秋田 七、一四九、六六〇、 岐阜 一、九二五、六四五、 兵庫 一、一九五、六四九、

島根 一、〇五九、二八七、 岡山 三九一、三〇五、 福島 三六九、九一一、

銅 全國總計 三三、九八二、二一七貫

明治三十年

栃木 八、九六六、四一七、 愛媛 五、六六六、〇一四、 秋田 四、五六一、二四二、
宮崎 三、五四八、四五四、 岡山 三、〇〇三、三九八、 島根 一、二二三、八九六、

鐵 全國總計 七、四六四、三六四貫

明治三十年

岩手 四、五一四、〇六〇、 島根 一、二四〇、二八〇、 鳥取 八六三、九七六、
石炭 全國總計 五、一四七、四九八噸(外無煙炭四〇、六五九噸) 明治三十年

福岡 三、二七九、九五八、 北海道 五九六、一九五、 長崎 四一四、六四七、

佐賀 三八九、五六四、 山口 一九七、一三三、 福島 一五六、三八三、

石油 全國總計 二三一、二二一石

明治三十年

新瀉 二二七、七三五、 靜岡 二、七五八、 秋田 二五一、
硫黃 全國總計 二二、六三六、八七〇斤 明治三十年

北海道 一一、七三二、八二六、 岩手 三、四九六、五〇一、 長野 一、六八二、一八〇、

蠶絲(各種合計) 全國總計 二、一三四、八六五貫

明治三十一年

群馬 三八五、六四九、 長野 三六三、八三六、 山梨 一四〇、七〇〇、

福島 一三六、〇五六、 埼玉 一一一、一六二、 岐阜 八四、二八〇、
 東京 八二、六二九、 新潟 七四、〇七五、 山形 六〇、五一二、
 綿絲 全國七十二紡績所出來高總計 三三、五四六、四八九貫 明治三十一年
 絹織 全國總計 一一、二四八、五一〇反 明治三十年
 京都 二、五五二、一九八、 福井 一、六七二、二〇九、 群馬 一、〇九五、〇五九、
 栃木 八九九、六一二、 山梨 六五一、一五九、 東京 六〇〇、二六二、
 埼玉 五八七、四三七、 石川 五一九、九五四、 福島 五一七、九〇四、
 絹綿交織 全國總計 五、四四八、〇六四反 明治三十年
 愛知 一、六九一、七九七、 岐阜 一、一七九、二二七、 栃木 六四八、二一八、
 木綿織 全國總計 六〇、八三一、〇〇〇反 明治三十年
 愛知 一八、五〇七、九二六、 大阪 六、二五〇、〇八一、 奈良 五、五九八、九一四、
 埼玉 五、三七四、九二一、 愛媛 二、三四六、一九一、 和歌山 二、二九八、四四一、
 麻織 全國總計 四、二五二、六三三反 明治三十年
 廣島 一、二三三、〇三九、 大阪 九八〇、六〇六、 滋賀 五八六、八七八、
 陶器 全國總計 五、一六三、〇七〇圓 明治三十年

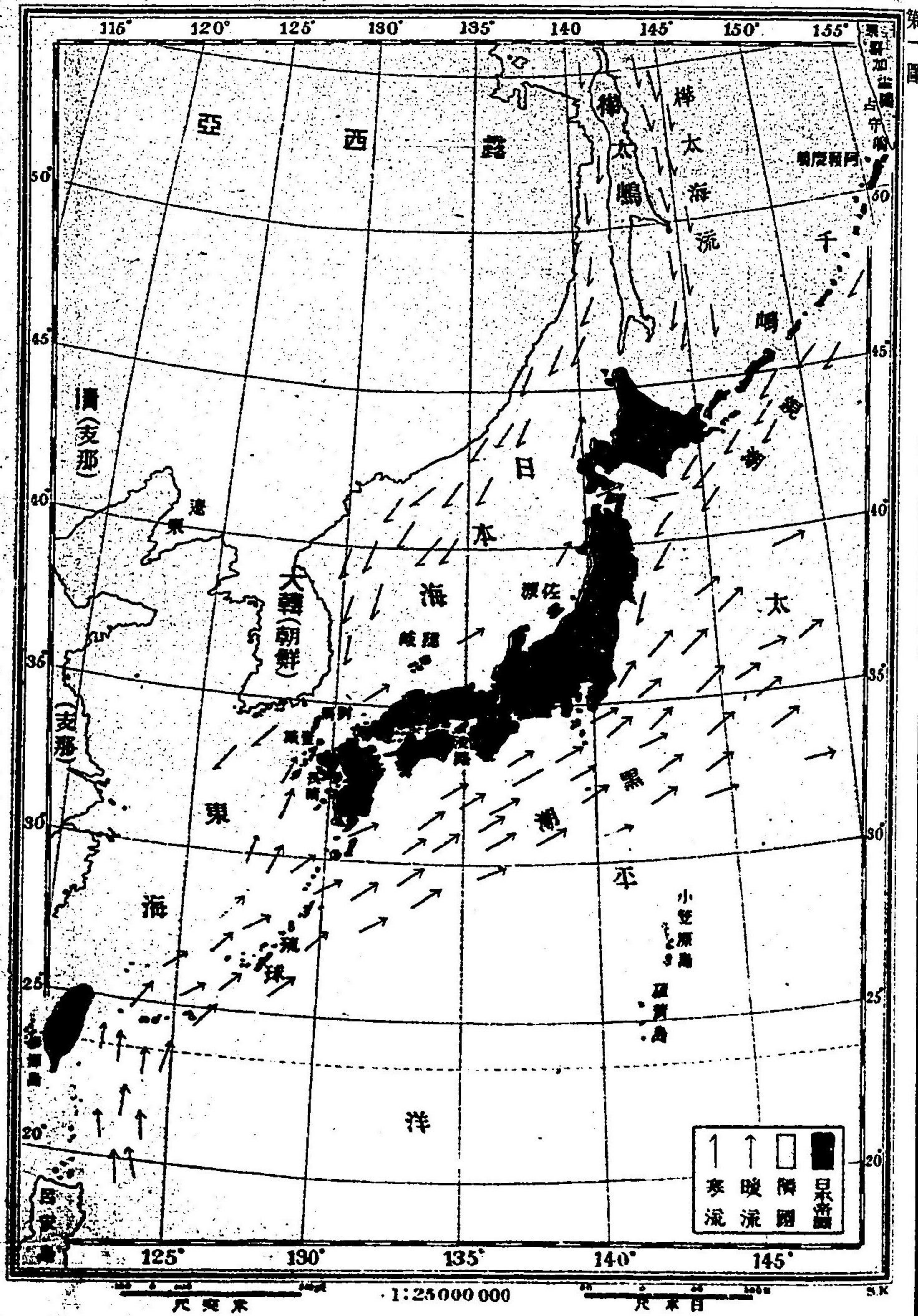
愛知 一、五七一、七六一、 岐阜 一、一五五、九六二、 佐賀 五二九、四六五、
 京都 三六〇、四二三、 石川 一七六、二六七、 福島 一三五、九二二、
 漆器 全國總計 四、一一六、〇七七圓 明治三十年
 和歌山 七八一、一三三、 京都 五三三、四〇〇、 石川 四六四、七二四、
 福島 二九六、四七〇、 静岡 二四八、九六〇、 神奈川 二三三、〇〇三、
 銅器 全國總計 一、一三〇、六四二圓 明治三十年
 京都 五一〇、一四三、 富山 二三一、七三〇、 新潟 八七、〇四五、
 紙(各種合計) 全國總計 一二、五八〇、一八八圓 明治三十年
 高知 二、〇九四、四五四、 岐阜 一、八七一、七〇九、 愛媛 九九三、五七八、
 静岡 八七〇、九四一、 兵庫 六八五、三四二、 山口 五四九、一〇四、
 疊表(草産共) 全國總計 二、四三二、七八九圓 明治三十年
 大分 八八四、九五二、 廣島 三七七、二六八、 岡山 一九五、二二七、
 福岡 一四一、一一〇、 静岡 一三四、二二四、 熊本 八二、九〇九、
 清酒 全國總計 四、一四〇、一六九石 明治三十年
 兵庫 五一五、八九二、 福岡 二三二、一六二、 京都 一四九、六二九、

十一、重要物産産額表(綿絲、絹織、絹綿交織、木綿織、麻織、陶器、漆器、銅、
 器、紙、疊表、清酒、味淋、燒酎、醬油)

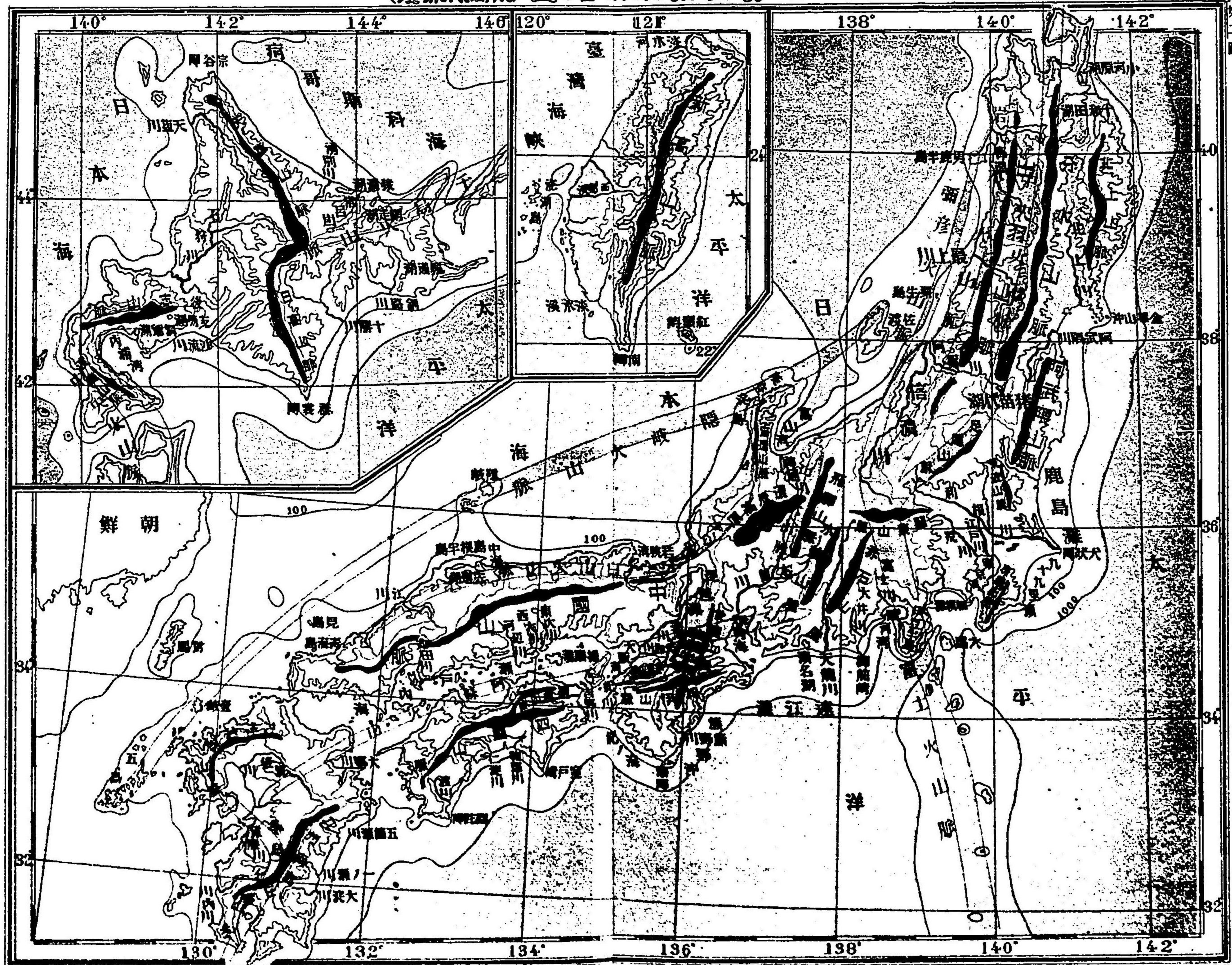
廣島	一四八、八一〇、	大阪	一四〇、八三六、	長野	一三九、八一五、
愛知	一三七、〇四一、	愛媛	一三六、二七六、	新潟	一二四、六二二、
味淋 全國總計 四二、一四五石 明治三十年度					
千葉	九、〇三五、	兵庫	五、四一二、	大阪	五、三五六、
愛知	五、〇七九、	廣島	二、一四五、	京都	一、九八六、
燒酎 全國總計 六八、〇六二石 明治三十年度					
鹿兒島	七、六四四、	熊本	七、四三七、	福島	四、六六八、
千葉	三、三六二、	福岡	三、三六一、	宮崎	三、三三一、
醬油 全國總計 一、五二八、四八八石 明治三十年度					
千葉	二〇三、九九五、	兵庫	九六、六七一、	愛知	八六、七五〇、
十二、重要輸出入物品元價表 明治三十一年					
輸出品 元價總額 一六五、七五三、七五三圓					
生絲類	四四、七〇三、三四一、	綿及綿布類	二四、〇四八、九〇三、	絹布類	一六、八〇三、四一〇、
燃料類	一五、三三四、四三〇、	金屬器類	八、四四七、七三三、	茶類	八、二一五、六六五、

家具日用品 七、八七九、六〇六、					
麥藁編物及蓆 六、三三三、六〇四、					
穀類 六、三二六、九八二、					
輸出品 元價總額 二七七、五〇二、一五六圓					
穀類	五七、五三四、一五四、	綿類	四五、七四四、三七一、	砂糖類	二八、六一九、五六三、
鐵器類	二〇、三三四、四三四、	器械類	一四、一二六、四五九、	船車類	一二、六七五、二二九、
綿布類	一〇、九七八、五一七、	毛布類	一〇、二六四、〇四九、	綿絲類	八、九〇六、三六〇、
油類	八、三三三、五四一、	藥種類	七、五〇〇、一七三、	煙草類	六、六二八、二一一、

日本帝國全國圖(附海流)



地勢山系水系略圖(附高低深淺)



上以華百 上以華千

尺 英 米 0 50 100 150 200

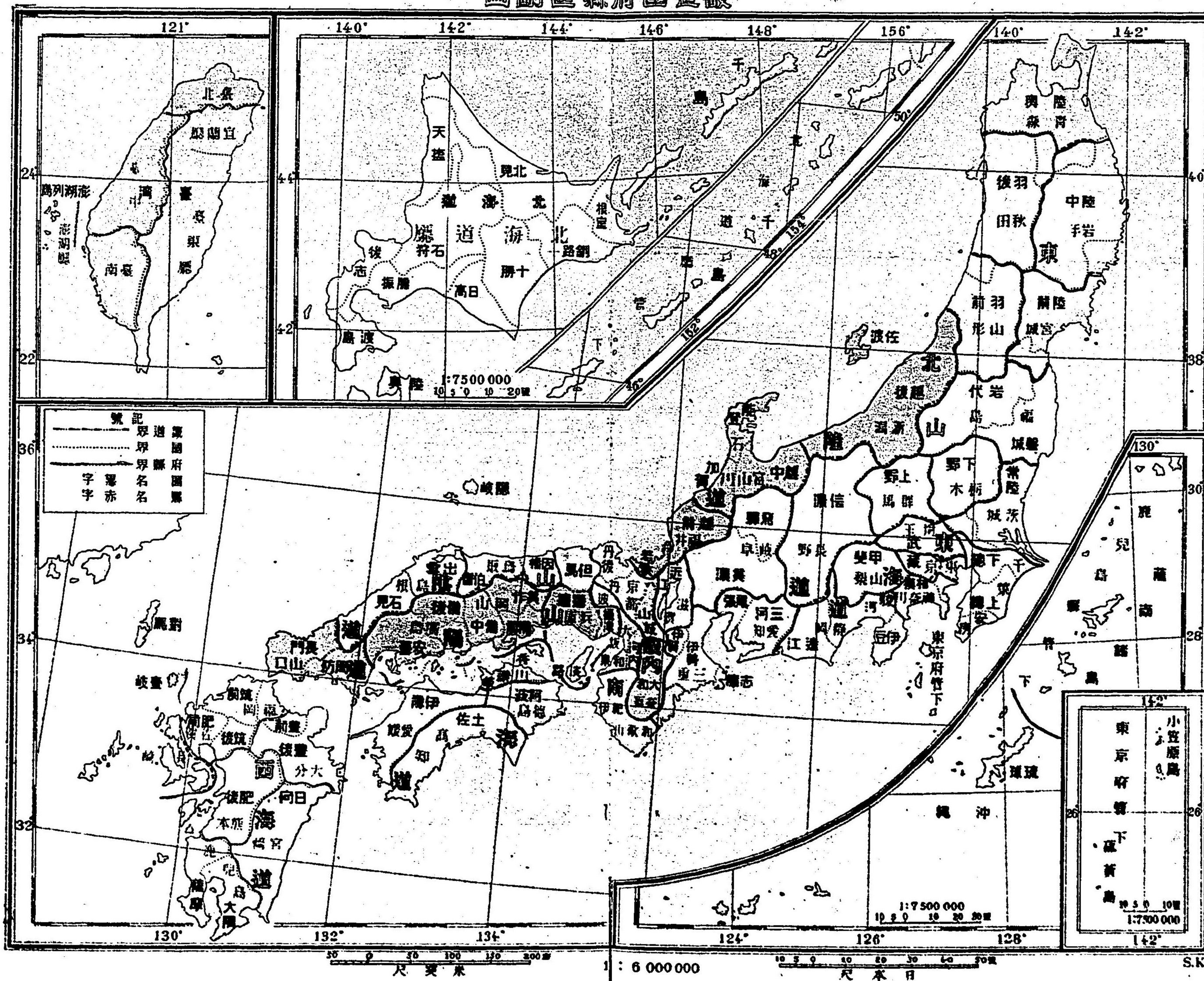
1 : 6 000 000

尺 本 日 0 50 100 150 200

上以英米千 上以英米百

第二圖

畿道府縣區劃圖



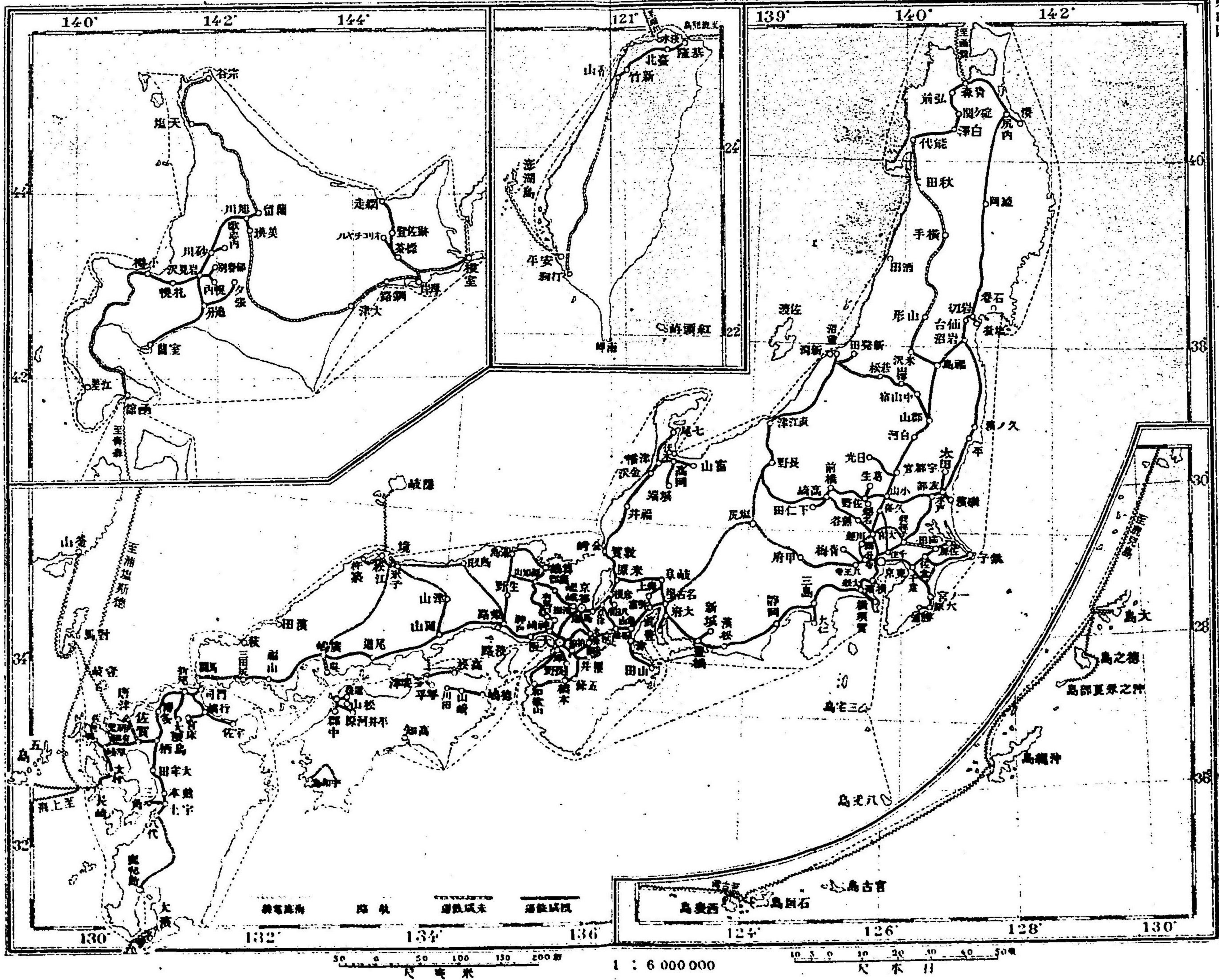
號記道界縣區
 字澤名赤
 字澤名赤

東京府管下
 小笠原島
 1:7500000
 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100
 尺米日
 S.K

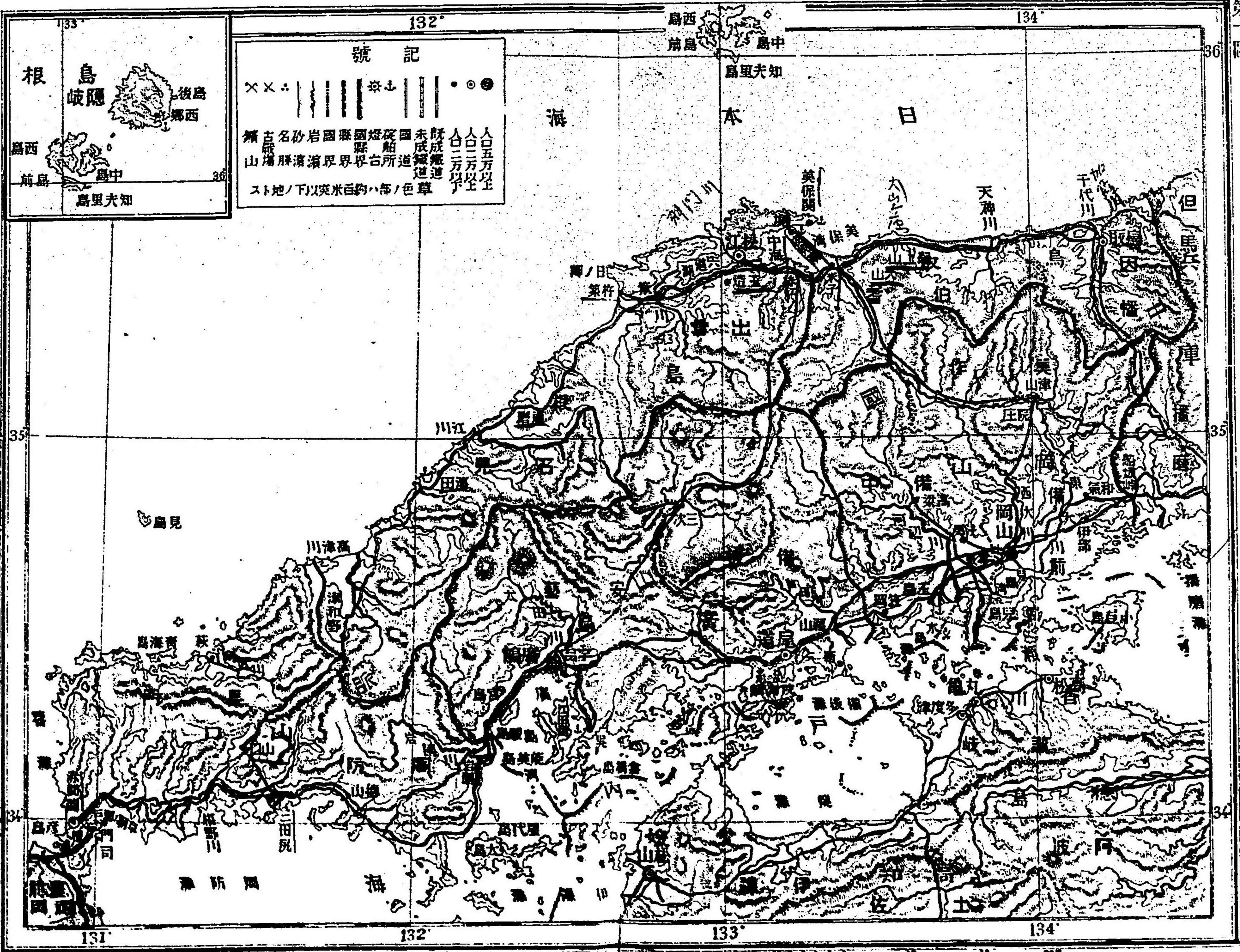
1:6000000
 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100
 尺米日

交通圖

第四圖



岡山廣嶋山口嶋根鳥取



1500000 尺本日

明治三十三年三月十九日印
明治三十三年三月二十三日發
明治三十三年十二月九日訂正再版印刷
明治三十三年十二月十三日發行

著 者 喜 田 貞 吉

發 行 者 兼 金 港 堂 書 籍 株 式 會 社
東京市日本橋區本町三丁目十七番地

代 表 者 右 社 長 原 亮 一 郎
東京市下谷區龍泉寺町四百十四番地

印 刷 所 帝 國 印 刷 株 式 會 社
東京市京橋區築地三丁目十五番地

賣 場 所 各 府 縣 特 約 販 賣 所

著 作 權 所 有

日本地理附誌
定價金五拾錢

16
2
149

86

149

